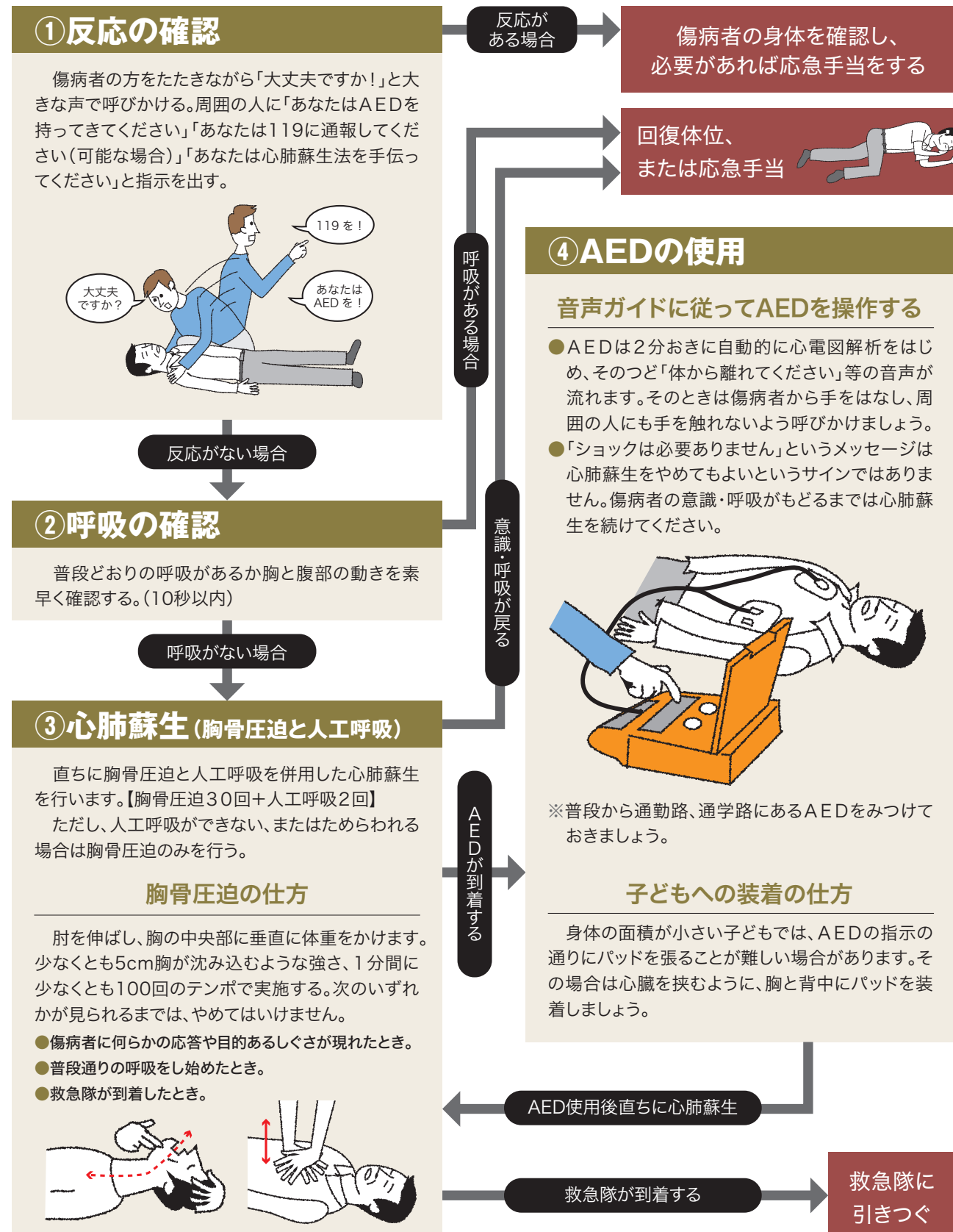


応急手当

救命の手順



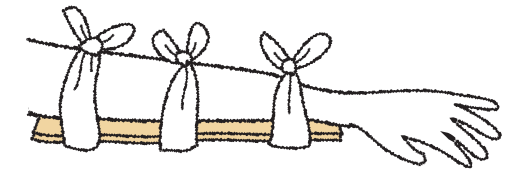
覚えておきたい応急手当

出血がみられる場合

- 直接圧迫止血……出血部に清潔なガーゼ等を当て、強く圧迫します。患部に触れる時は、感染防止のため、ゴム手袋やビニール袋などを使用することが勧められます。

骨折の応急手当

- 患部の固定には、雑誌、傘、段ボール、野球バット等が代用できます。原則として固定する部位より長く、幅のある物を用いましょう。
- 固定は、骨折部の上下の間接が動かないように固定します。



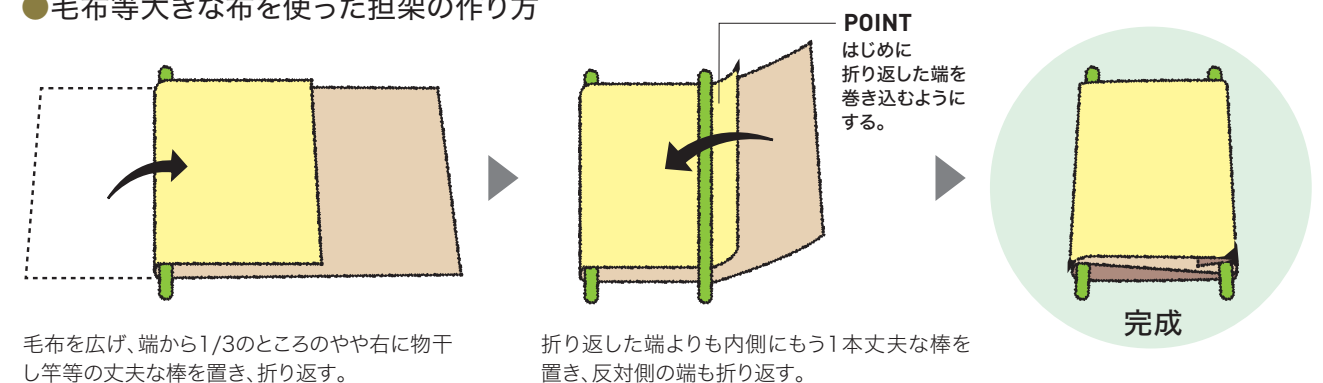
やけどの応急手当

- やけどをしたら速やかに水道水などの清潔な水で患部を冷やします。
 - 衣服の上から火傷をした場合は、無理に脱がさず衣服の上から流水で冷やしましょう。
- ※無理に脱ごうとすると、皮膚も一緒にはがれてしまう可能性があります。

搬送方法

応急担架の作り方

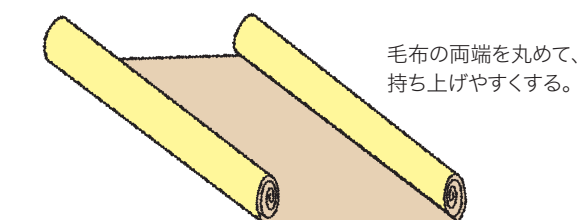
- 毛布等大きな布を使った担架の作り方



毛布を広げ、端から1/3のところのやや右に物干し竿等の丈夫な棒を置き、折り返す。

折り返した端よりも内側にもう1本丈夫な棒を置き、反対側の端も折り返す。

- 毛布のはしを丸める



毛布の両端を丸めて、持ち上げやすくする。

